

牧会 / 社会 / 神学

第5回日本伝道会議の論点④

教会が関わる個人は信徒であれ未信徒であれ、必ず背後に家族の関係がある。家族の関係が及ぼす影響は大きく、教会は常に家族の問題に影響され、また影響を与えている。伝道会議プロジェクトの一つ「ファミリーミニストリー」では、夫婦関係を切り口に4つの方向から家族の問題を見ようとしている。

家族問題で苦しむ人々への対応

第1は教会の外に目を向け、世の家族問題の現状を知る方向である。家族はその時代の社会に大きく影響されるので、問題の様相は常に変化している。家族の問題で苦しむ人々を受け入れケアしている施設のレポートにより、現状を把握したい。また家族の問題は、ときとして非常に深刻であり、愛をもって受け入れる教会の態度は正しくても、対応力を超えた問題の場合には、結果的に教会にとっても救いを求める個人にとっても悪い結果を招いてしまう。こうしたことを避けるためには専門的な関わりのできる施設や働きを協力を得る必要がある。プロジェクトでは福音的な関わりができて、かつ専門的な対応力のある働きを紹介しようとしているが、現実

ファミリーミニストリー 夫婦関係から家族の問題を

にはクリスチャンの働きだけではまかないきれない。教会の外にある公的機関などの情報を提供し、教会が担う範囲と外部にゆだねる範囲についても考えたい。第2は家族の問題に苦しむ人々のニーズに応えることを通じて宣教する方向である。深刻な問題

教会のあり方が問われる家族問題

第3は教会の中における家族の問題を考える方向である。信徒同士夫婦の問題、信徒と未信徒の問題、信徒と未信徒の夫婦の問題、未信徒の家族の中でただ一人救われている信徒と家族の問題などの実態をしっかりと把握することが必要である。なぜならこうした問題はしばしば隠されて深刻化することが少なくない。当事者が心を開ける場をどのように教会が備えるか、信仰を最も身近な者との関係で生かすことを教会がどのように助けられるかを考える。第4は聖書を通して夫婦、家族を見る視点である。最も基本的なことではあるが、私たちは本当に聖書を通して家族とは何かを知っているか、あるいは知らせているかを顧みる必要がある。教会も確かに社会の影響を受ける。無意識のうちに教会の家族観がこの世の人々には多い。元来家族は神に与えられたものである、本当のあり方を示すことができるのは教会だけである。また、傷ついた家族が回復するのは、罪の贖いの道以外にな

現実である。最後に今回プロジェクトで家族を考える4つの方向に、もう一つの視点を加えたい。これまでの伝道会議でも「ファミリーミニストリー」の重要性は訴えられてきたが、必ずしも各教会が個人の家族に目を向け、家族の問題に関わる姿勢は育ってこなかった。個人のプライベートを重んじる世の風潮が家族の問題を隠しているかもしれない。深い悩みを打ち明けるに足る信頼関係が教会にないのかもしれない。問題を抱える人がさばかれることを恐れる律法主義的

日本福音主義神学会 東部部会

「日本教会史の検証」 テーマに公開研究会

日本福音主義神学会東部部会は「日本教会史の検証」をテーマに公開研究会を、6月8日午後2時から、東京・千代田区のお茶の水クリスチャン・センターで開く。プロテスタント宣教150年を迎えるの企画。講演者は東京基督教学校校長の山口陽一氏と、日本ホーリネス教団鶴沼教会牧師で同教団歴史編集委員会実務委員長の上中栄氏。山口氏は「クリスチャン禁会とプロテスタント100年―ベッテルハイムから敗戦まで」を主題に、300年かけて作られた「神国日本」へのプロテスタント宣教100年の歴史と教会

教会が教会であるために

精神障害と教会

52

「依存①」

今回は、「依存」という問題を取り上げてみたいと思います。このたびお寄せいただいたご相談の内容をいくつか紹介すると、精神科に通院している礼拝参加者は、一般的に「依存」傾向が強く、「甘えることを当然のこと」と思っている人が多いです。もう教会に来ない」とか「愛がない」という苦情をもらい、教会の近くにあるアパートに車で送らなかつたりした時には、「車を持っていくくせに、なぜ俺を送らないのか」と言われることもあったと言っています。

それは「依存」傾向が強いこと、最初のうちは「なだめること」でしたが、効果は薄かったでしょう。次に「断る」という策は「甘えさせないように、断固とした対応」をとられたようです。その対応は、「依存を自当てる」の礼拝参加は、断固として「断る」ことでした。しかし、そのような強い措置も効果はなく、「いつかは自立に向かうだろう」という期待は報われることはなかったというのです。そこで取った第3の方策は「付き合いはするけれど、(不当)依存は断固としてさせない」という硬軟織り交ぜた対応に方向転換をして現在に至っておられるとのこと。いずれにしても、「自立した人格形成が信仰の成長に不可欠」と考える相談者にと

逆の立場から「声」を聴く

「精神科に通院している人が一般的に依存的」かどうかという議論の余地があり、あくまでも相談された方の教会の現実と受け止めたいと思います。しかも、今回「依存的」として取り上げられた人たちの背景やかかえる困難の内容が全くわからない中で、「答えを出すのは、かなりの冒険ですが、あくまでも一般論として基本的な私なりの考え方を紹介したいと思います。まずは、徹底してその人の立場になって考えることです。ここでは、周囲から「依存的」と非難されながらも、教会につながることを求める人たちが求めている「声なき声」を聴くことが大切だからです。



向谷地 生良 (むかいやちいくよし) 北海道医療大学看護福祉学部教授、浦河日赤病院ソーシャルワーカー、「べてるの家」理事と三足のワラジを履いて活躍中

©みなさまのお悩み・ご質問・ご意見を募集しております。「精神障害と教会」にかかわる具体的なお悩みや、ご質問を送ってください。宛先は〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-10CC ビル5階 クリスチャン新聞編集部まで。HPでも募集中です。http://jpnews.org/seishin/ (掲載の場合は薄謝進呈)

超教派 オリーブの里聖会 第57回

とき 2009年6月19日(金)~20日(土)
ところ 祈りの家 日光オリーブの里
テーマ 『信仰に生きる人と、そうでない人』
講師 尾山 令仁 先生 東京神学校校長



受付開始 19日 PM3:00 (PM5:00夕食)
第1聖会 19日 PM7:00~PM9:00 (尾山 先生)
早天祈会 20日 AM6:30~AM7:30 (新嘉喜 先生)
第2聖会 20日 AM10:00~12:00 (尾山 先生)
12:00~PM1:00 (軽い昼食後に解散)

第58回 オリーブの里 聖会
2009年7月17日(金)~18日(土)
講師 ジャパンカトリックセード牧師 福澤 満雄 師

天然かけ流し温泉 オリーブの里「心の湯」をお楽しみください。
(アクセス) 東武鉄道・鬼怒川線新高徳駅下車。駅前よりタクシーで5分。新高徳到着時間をお知らせできれば、お迎えに上がります。東北自動車道宇都宮ICから日光宇都宮道路に入り、今市ICを下り、国道121号で鬼怒川方面へ、ウエスタン村の信号左折約5分

祈りの家 日光オリーブの里 ☎0288-21-7693 FAX 0288-21-7699
〒321-2427 栃木県日光市佐下部368 http://www.kinugawa-olive.org

超教派 MEBIG セミナー

Table with 4 columns: ブロック名, 日程, 連絡先, 会場. Lists various seminars and their details.



MEBIG セミナー委員会 代表 内越言平
札幌市白石区北郷7条3丁目 愛隣チャペル内
MEBIG セミナー委員会
TEL 011-872-3211 FAX 011-872-6441
Eメール: seminar@mebig.com

行ってみなくちゃわからない
全国のCSせんせい! 集まってください! MEBIGを体験しませんか?